

【第1回】

日本生理学会 100周年を迎えるにあたり

日本生理学会 100周年記念事業委員会 委員長 丸中 良典

日本生理学会は1922年に設立され、今年（2022年）で100周年を迎えます。また、2023年3月には第100回記念大会が京都の地で開催されます。日本生理学会にとっての節目にあたり、一言述べさせて頂きたいと存じます。

日本生理学会は日本でも有数の歴史を誇る学会であることは私が申し上げるまでもなく会員の皆様方がよくご存知のことと思います。生命科学の根幹をなす分子レベルから個体レベルまでの生命現象の理を明らかにする学問である生理学の重要性は益々大きくなってきています。一方で、生命科学分野全領域を研究対象として取り扱うが故に、「生理学」の学問としての特徴がややもすると不明確なものとなって来ているようにも思えます。日本生理学会が設立100周年を迎える節目の年は、今一度学問としての生理学を考える良い機会かと存じます。私自身も学部 of 学生時代から今に至るまで生理学に興味を覚え、私なりの生理学の意味を今一度考えてみようと思っています。

さて、日本生理学会は設立100周年を迎えるにあたり、記念事業を行うということで、100周年記念事業委員会を立ち上げ、私が委員長を拝命させて頂いています。本委員会の役目としましては、以下の点を遂行することと考えています。

- ・過去の100年を振り返り100年間の生理学会関連の資料の整理保管（アーカイブ化）
- ・100周年記念誌発行
- ・100周年記念シンポジウム開催（第99回大会（仙台）および第100回記念大会（京都））
- ・100周年記念グッズ作成
- ・今後の100年に向かっての日本生理学会が向かうべき方向性の具現化

特に、今後の100年に向けての生理学発展に資することの大きな点は、日本生理学会の会員一人一人が学問として生理学の概念構築に向かってと

られる研究活動とその研究成果の体系化かと存じます。100周年記念事業委員会と致しましては、日本生理学会の100周年記念事業が会員の皆様方の心に残るものとなり、また将来100周年記念事業を振り返って頂けるように、委員一同一丸となって尽力致しますので、何卒宜しくお願い致します。

追記：

- ・100周年記念事業の詳細は以下のWebサイトで適宜配信しています。

<http://physiology.jp/100th/>



- ・100周年記念事業委員会委員は以下のとおりです。

委員長 丸中 良典（一財）京都工場保健会）
副委員長（事務局長）

- 上田 陽一（産業医科大学）
委員 南沢 享（東京慈恵会医科大学）
委員 石川 透（帯広畜産大学）
委員 尾野 恭一（秋田大学）
委員 宮田麻里子（東京女子医科大学）
委員 内田 さえ（東京都健康長寿医療センター）
委員 渡辺 賢（東京都立大学）
委員 田代 倫子（東京医科大学）
委員 高橋 倫子（北里大学）
委員 酒井 秀紀（富山大学）
委員 尾松万理子（滋賀医科大学）
委員 伊佐 正（京都大学）
委員 樽野 陽幸（京都府立医科大学）
委員 北澤 茂（大阪大学）
委員 西谷 友重（和歌山県立医科大学）

委員 美津島 大 (山口大学)
委員 佐藤 達之 (自治医科大学)
委員 (事務局)
丸山 崇 (産業医科大学)